

宮崎方面研修雑感

研修部 小野 英治

(会員 弥生町井崎)

平成十四年十月八日(火)から九日(水)にかけての研修旅行は、初日こそ雨であったが、その外は予定の全日程を消化して有意義なものであった反面には、高速道が一部しか完成していないので見学時間に制限があり、宮崎県と大分県を結ぶ高速道の早期実現が望まれる。今回は、旧来の土日を平日としたが、これはバス借上と宿



延岡城の石垣

泊料金を節約したものである。しかし、休日しか参加できない人もいるので、日程設定は難かしい。

初日の延岡市内藤記念館では、有名な天下一の能面展と、江戸時代の城と城下町屏風は感動した。芸術面での内藤氏は高評価される。次に訪れた城山の千人殺しと称される高石垣は、戦国期の野面積で見事なもの。復元された北大手門周辺の石垣刻印の多いのにも興味を覚えた。次の高鍋城は、秋月氏が領民第一と考えた政治をし

たというだけあつて質素なものであるが、ここからは米沢の上杉家へ養子に入り、財政改革に成功した上杉鷹山ようざんが出ている。「なせば成るなさねば成らぬ何事も成らぬは人のなさぬなりけり」の遺訓は、あまりにも



延岡城・復元大手門

有名である。城内にある資料館は、小さいながらもよく整備されている。

高鍋で昼食後は、佐土原を訪れる。佐土原城は戦国時代伊東氏の本城となつて最盛期を迎えるが、後に薩摩島津分家の居城となつて明治維新後、広瀬に陣屋を設けたので廢城となつた。城内二の丸に復元された御殿資料館は発掘された礎石によつたものといわれるが、館内では特に盛時の佐土原城と城下町の立体模型はよく理解でき



高鍋城・大手門址と外堀



佐土原城復元・二ノ丸御殿



佐土原城の立体模型による説明

るもので感心する。次に見学した宮崎県立博物館は、総合というだけあつて広範囲で展示物はよく整備されていて、大分県にもこのようなものがほしいところである。ほぼ予定時刻に青島グランドホテルに到着。ここは野球の読売巨人軍のキャンプ時の宿舎でもあり、おかみさんは蒲江町の出身ということもあつて、宴会はサーブス満点で楽しく過ごし温泉に入る。翌朝はお土産(ういろう)をいただき恐縮、感謝して賞味する。

さて、青島海岸といえば北朝鮮による拉致があったところでもある。リアス式海岸と異なり太平洋に臨み長い海岸は守備範囲が広大で、暗夜に不審船が近付いても容易に発見できないのではと、屋上露天風呂より眺望実感する。

翌日は鶴戸神宮に参拝して飫肥城と城下町を訪れる。ここはよく整備され、高校生の清掃作業は注目される。この城は江戸中期に改築され、美しい切込ハギ石垣となっているが、外敵に対する防衛の縄張はよく工夫されていて島津氏対策として、理解できる。

昼食後、西都原古墳群と同資料館を訪れたが、近く新資料館が完成するのとこのことであった。その後、大友対島津の激戦地である高城に寄



飫肥城・復元大手櫓門

り、宗麟原供養塔に参拝して全日程を終え帰途についた。

この研修では、

地元のボランテイアガイドさんには

お世話になった。

内藤記念館・高

鍋・佐土原・飫

肥・西都原と五ヶ

所に及んだが、こ

れは佐伯史談会と

しても大いに参考

にさせていただき

たいものである。

また今回の参加者は運転手を含めて二十名は適当な人数で、今後も多くの会員に参加していただきたいので、計画する側としては、感想・要望等お知らせください幸いです。



飫肥城・歴史資料館前で